



まつもと じゅん

松本純

中区・磯子区・金沢区
まちかど
政治版

平成20年10月15日号
発行 かながわ1区支部
編集長 平木 茂



10月号
2008年
No.68

松本純ホームページ 毎日更新中! [http:// www.jun.or.jp](http://www.jun.or.jp) ▶ 検索キーワード「松本純」

景気後退、金融恐慌…「不安」解消の政策を!

麻生内閣の一員としてやりぬきます



最上段左から二人目が松本純内閣官房副長官

は多くの記者さんが待ち構えています。政治記者には欠かせない「夜討ち」です。ここでは、麻生首相の考えを正確に伝えるのが私の役目です。

内閣官房副長官として首相官邸入りして、1カ月が過ぎようとしています。これまで経験したことのない緊張が続く日々ですが、同時に内閣のど真ん中で麻生内閣の政策実現に全力投球できるという充実感に満ちた毎日でもあります。

麻生首相とともに過ごす時間が、格段に増えました。首相官邸での打ち合わせはもちろんですが、遅い夕食をとにもする機会も多く、そういうとき私は、多くの議員から寄せられた意見や提案をできるだけ麻生首相に伝えるようにしています。

新聞記者の皆さんに取り巻かれる機会も増えました。官邸での記者懇談会。河村官房長官の代理として行う定例記者会見。午前0時ごろに帰宅しても、自宅前に

それにしても麻生首相のアグレッシブな姿勢には改めて驚かされました。それが最も鮮明になったのが、予算委員会です。急激な景気後退に対処する「緊急総合対策」を盛り込んだ補正予算の審議に臨む麻生首相には、その成立なしには「麻生政治」は始まらないという鬼気迫るまでの決意がにじみ出ていました。中小企業の皆さんがいまから心配されている「年末の資金繰り」などの対策は、補正予算の成立で目途が立ちました。

麻生内閣は息つくひまもなく、アメリカ発の金融恐慌対策に全力をあげています。日本の実体経済への影響はなんとしても防がなければなりません。「景気への不安を取り除くこと」「生活への不安を解消すること」。それは麻生内閣が最優先で取り組んでいる使命ですが、私自身にとっても、一時も頭から離れない、いちばん気になる課題です。

日本中をおおっている「不安」をなくすには……。そのために実行しなければならない具体的な政策を2面に掲載しました。これらの政策は今、ただちに手を打たなければなりません。松本純は、麻生内閣の一員として、その実行のために最前線で闘います。

今、日本をおおう「閉塞感」を打破するために



① 景気への不安を取り除くため、「緊急総合対策」を実行します

今、日本をおおっているのは“不景気”と、そこから生まれてきた“閉塞感”です。これを打ち破ることが今の政治の最優先課題です。具体的な政策で安定した経済成長を目指し、麻生内閣が目指す「明るく力強い日本」をつくります。



- 家計を豊かにするための特別減税を行います
- 年末の資金繰りなど中小企業対策を進めます



② 生活への不安解消のため、「信頼できる社会保障制度」を確立します

「年金制度や高齢者医療制度が揺れています。食品の安全、偽装表示が家庭を直撃しています。そして雇用不安。生活を取り巻く不安に、多くの人が立ちすくんでいます。その解決のための政策実行は“待ったなし”です。



- 安心できる老後のため年金制度、高齢者医療制度を見直します
- 食の安全と雇用情勢が厳しい地域における就職支援を進めます

③ 政治改革、公務員改革で「政治の信頼」を取り戻します

衆参の“ねじれ現象”が政治の停滞を招いています。“税金のむだ遣い”が国民の皆さんの政治不信を拡大しています。さらにモラルとやる気を失った公務員。強力な政治を進めるため、政治と行政の改革を断行します。



- 主要政策の与野党間協議を一層進め、国会を論議の場とします
- 歳出の徹底削減を図り、地方分権で“地域の元気”を支援します

まつもと じゅん プロフィール

昭和25年4月11日、横浜市中区生まれ▶本町小、聖光学院中・高、東京薬科大卒、薬剤師▶本町小PTA会長、横浜JC専務理事、野毛大道芸実行委員長など街づくりや地域活動に取り組む▶平成2年～横浜市議（3期）▶平成8年～衆議院総選挙で初当選。専門を生きし医療・福祉・年金などに全力投球。介護保険制度を創設した責任者の一人▶平成12年～総選挙で次点落選▶平成15年～衆議2期目。小泉内閣で総務大臣政務官、安倍内閣で自民党副幹事長、福田内閣で自民党副幹事長に再任される。▶平成20年9月、麻生内閣で官房副長官の要職に任命され現在に至る。

